

作成	承認

簡単取扱説明書

(簡易貫入試験機)



応用計測サービス株式会社

本簡単取扱説明書は、あくまで簡易な使用方法についての取扱説明書です。ご使用に関して機器取扱説明書を十分ご理解の上で正しくご使用くださるようお願いします。



注意

本簡単取扱説明書は、簡易な使用方法についての取扱説明書です。詳細については機器取扱説明書十分理解して使用してください。

1	本品仕様	P-1
2	機器一覧	P-1
3	接続方法	P-2
4	試験方法	P-2
5	試験の終了	P-3

1 本品仕様

項目	仕様
ロッド	φ16×500mm (先端用は 430mm)
ウェイト	重量 5kg
コーン	外径 φ25mm 先端角 60度 円錐型

2 機器一覧

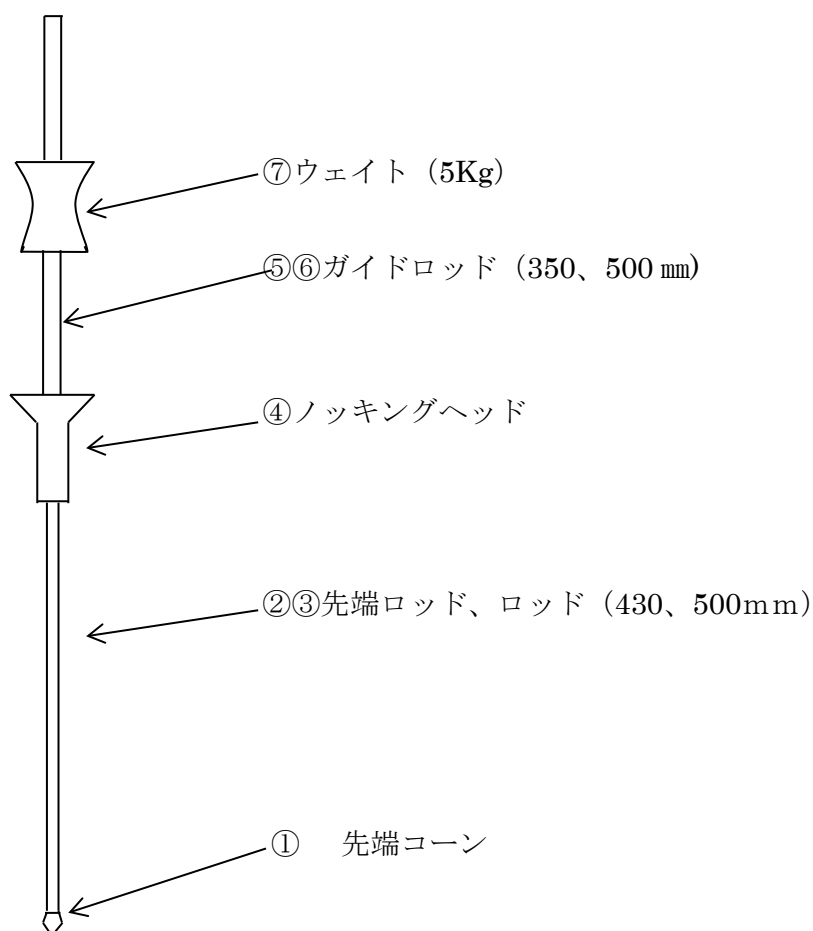
レンタル品に含まれる部品は以下の通りです。

- ① 先端コーン… 2個
- ② 先端ロッド (430 mm) …1本
- ③ ロッド(500 mm) 9本
- ④ ノッキングヘッド…1本
- ⑤ ガイドロッド(350 mm)・1本
- ⑥ ガイドロッド (500 mm) 1本
- ⑦ ウェイト (5Kg) …1個
- ⑧ スパナ (14-17) …2個



3.接続方法

接続は以下の図のように行ってください。



4.試験方法

- ④ノッキングヘッドの上面に⑥ガイドロッド (500m) ⑤ガイドロッド (350mm) の順番で取り付ける。
- ④ノッキングヘッド下部に③ロッド (500mm)、その下に先端ロッド (430mm) を取り付け、その先に先端コーンを取り付ける。
- ガイドロッドに⑦ウェイトを通してセットする。
- 装置全体が鉛直になるように立て、その時の貫入深度を測定し記録する。
(ノッキングヘッドから先端コーンまで 1000 mm - 残尺)
- ガイドロッドの継ぎ目までウェイト下端を持ち上げ、自由落下させる。この動作を繰り返し 10 cm 程度貫入するごとに貫入深度、打撃回数を記録する。
上記の作業を繰り返し、ノッキングヘッドの高さが 500mm 程度になったら新しくロッドを継ぎ足す。

※但し、ノッキングヘッドの高さが 1m 以上になるまで継ぎ足しはしないでください。

5.試験の終了

以下の条件を満たした場合は貫入を停止してください。

- A. 10回のウェイトの落下で2cm程度しか貫入しなくなった場合。
- B. 基岩に達し貫入不能になった場合。

※レキ等に当たり貫入不能になったと考えられる場合は10cm以上ずらす様にして下さい。

引き抜きはノッキングヘッドを外し、ウェイトをロッドに通してノッキングヘッドを取り付け、下からウェイトでかちあげる。もしくはパイプレンチを2丁使用し平行に引き上げて下さい

※引抜中はロッドを左回転させないで下さい。ネジが緩み、ロッドの回収ができなくなります。

